

# こどもすこやか育みプラン・とよなか令和4年度(2022年度)の事業実施報告書【概要版】

## めざす姿

子ども一人ひとりが健やかに育ち、子どもや子育て家庭にかかわる全ての人がつながり、社会全体で子どもを愛情深く育む地域社会

### 重点施策

## 1 ひろめよう、それぞれの居場所～子どもの居場所づくり～

### 子どもの居場所ネットワーク事業

子ども食堂や無料・低額の学習支援等の地域の多様な子どもの居場所づくりを公民連携で推進するため、引き続きポータルサイト「いこっと」での情報発信や、立ち上げから運営支援、居場所運営者同士のつながりづくり、ボランティア講座などを実施。



### 子どもの居場所・相談支援拠点モデル事業の実施

新規事業

セーフティネットの仕組みづくりをさらに促進するため、市委託型の子どもの居場所・相談支援拠点を開催。安心・自由に過ごせる居場所の提供、食事提供、文化・社会体験活動、個別相談対応、家庭訪問等の支援を実施するとともに、学校・関係機関・地域等と連携した支援の仕組みを検討。



### 重点施策

## 2 みんなで寄り添う、健やかな育ち

～一人ひとりの育ちにあわせた相談支援～

### 切れめのない相談支援

新規事業

切れめのない相談支援・分野横断的・重層的な相談支援をめざすことで、子どもや家庭により早期に、的確な支援を行う『子ども家庭支援システム(子どもの支援情報一元化システム)』の稼働を開始。

### 分野横断的な相談支援

子どもや子育て家庭が抱える問題が複合化・複雑化していることから、妊娠期から子育て期にわたるまで切れめのない支援のための各窓口が連携しながら支援を実施。

### 迅速かつ丁寧に切れ目なく包括的に支援を行うための体制強化

子どもや家庭に対し、確実に支援を行き届かせ、すべての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行うための「はぐくみセンター」の設置に向けた検討。

「豊中市児童相談所設置基本計画」を策定し、児童相談所の開設に向けて、相談支援体制の検討や職員育成のため大阪府への職員派遣などを実施。

### 重点施策

## 3 誰もが安心、つながる支援～必要な支援を届ける環境づくり

### 障害のある子どもへの支援

新規事業

保護者の体調や就労等の理由によって、ひとりで通学が困難となっている障害のある児童・生徒に通学支援のガイドヘルパーを派遣。

### 外国にルーツをもつ子ども(家庭)への支援

おとなサポート事業では、相談しやすい環境づくりのため、リモート対応、SNSによる相談対応を継続するとともに、社会福祉協議会と連携して訪問支援を実施したり、庄内コラボセンターで多言語相談を行うなど、アウトリーチを強化。

### ひとり親家庭、貧困の状況にある子ども(家庭)への支援

拡充事業

新型コロナウイルス感染症や物価高騰に対する経済的支援として国制度の低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金を支給。養育費確保のための取組みとして、養育費請求に関する弁護士費用補助を開始。



### ヤングケアラーへの支援

新規事業

ヤングケアラー専用相談窓口を開設し、子どもを守る地域ネットワークを活用し、支援内容の協議等を行うとともに、外部有識者からの助言・意見をj得る体制を整備。

## 子どもすこやか育み条例に基づく取組み

～令和4年度(2022年度)は、条例施行から10年目を迎えました。これまで、子どもを含む市民、職員向け講座や研修会等を実施し、条例周知の取組みを進めてきました。～

- ・条例を知ってもらう取組みとして、子ども向けパンフレットを講座開催時や市内の小学4年生に配布。また小・中学校を対象に条例や子どもの人権をテーマにした出前講座を実施。
- ・子どもの社会参加の促進として、市の子育ち・子育て支援の取組みについて意見を聴くため学校を訪問し、小学生、中学生、高校生合計126人からヒアリング。
- ・子どもたちの「思い」を表現したこどものつばやき展を開催。



## 施策の柱1 子育て支援

- ・教育・保育の質向上のため、「豊中市教育保育環境ガイドライン」を活用した研修会や施設の自己評価手法や質の向上に係る意見交換などを実施。
- ・生徒一人ひとりの状況や学習理解に応じた学びの場を提供し、学習習慣を身に着けることにより、学力保障・学力向上をめざすモデル事業を実施。中学校5校を対象に中央、庄内、千里の各公民館で放課後や土日を活用し、自宅学習を支援。新規事業
- ・スクールソーシャルワーカーを市内全41小学校へ配置し、長期欠席につながる課題の早期発見及び解決に向けた取組みを推進。拡充事業

## 施策の柱2 子育て支援

- ・庄内コラボセンター「ショコラ」に子育て支援センターほっぺ南部分室を開設。拡充事業
- ・新しい家族を迎えた市民の子育てを応援するため、子ども一人あたり1万円相当のカタログギフト「とよなかっ子スマイル」の配布を開始。新規事業
- ・すべての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるように、伴走型相談支援を充実するとともに、経済的負担軽減のため、とよなか出産応援金(5万円)・子育て応援金(5万円)を給付。新規事業



## 施策の柱3 安心・安全なまちづくり

- ・子どもと一緒に外出しやすい地域づくりのため、子育て世帯に配慮したサービスを提供している「とよなか子育て応援団」登録団体の子育てを応援する思いや利用者の声を紹介するガイドブックと動画を作成。
- ・千里中央公園を再整備し、公園の魅力向上に向けた公民連携事業を開始、旧公園管理事務所をリノベーションし、地域住民とともに公園での憩いや賑わいを創出する施設を開設。

